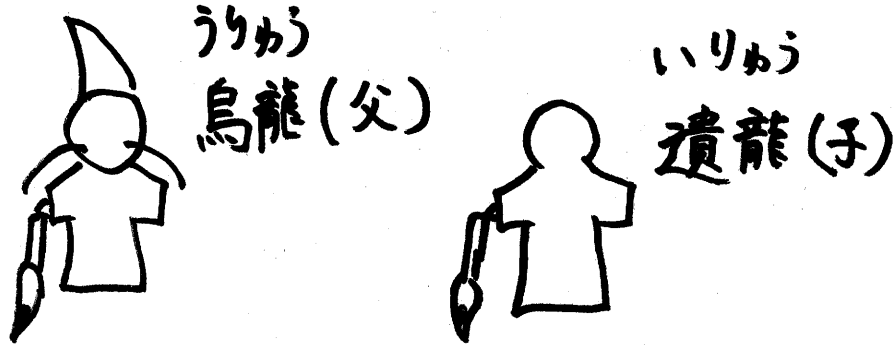
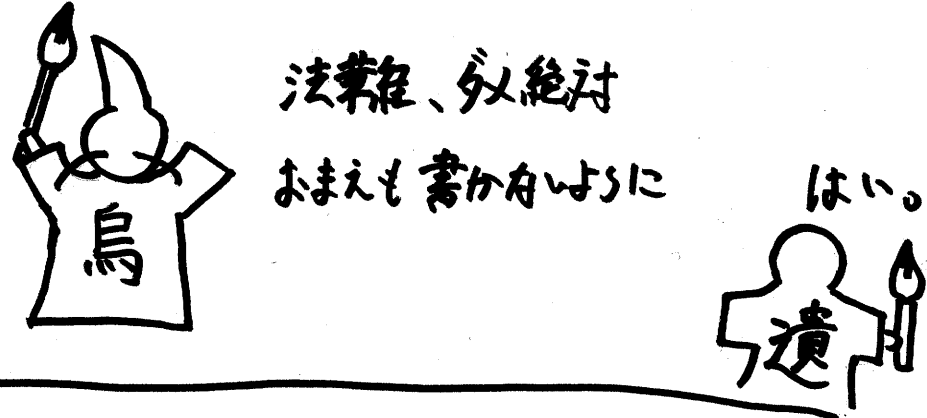


① 昔、烏龍と遺龍 とい
書家の親子がいました。



② 烏龍はお経が嫌いで、
特に法華経は、絶対に
書きませんでした。



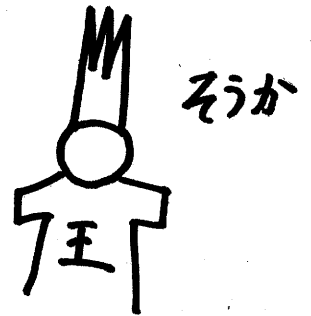
③ 烏龍は死後、地獄に落ちました。



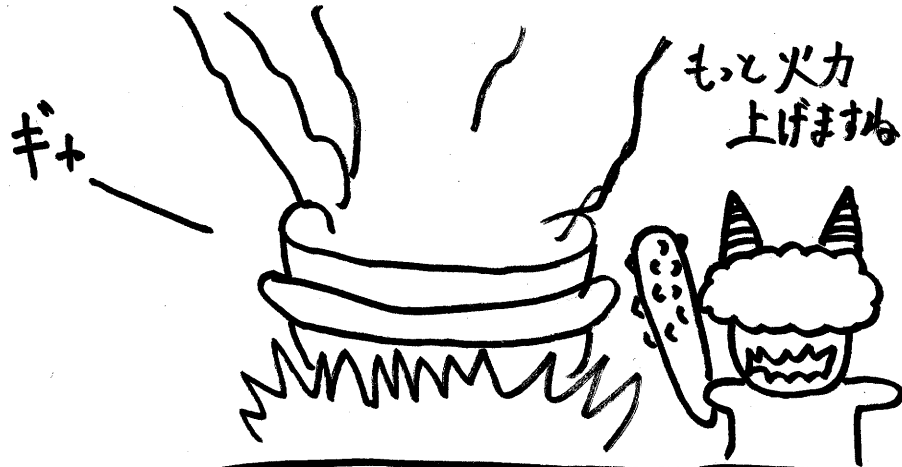
地獄へようこそ

④ ある日、国王が遺龍を呼び、
法華経を書けと言いますが、
断りました。

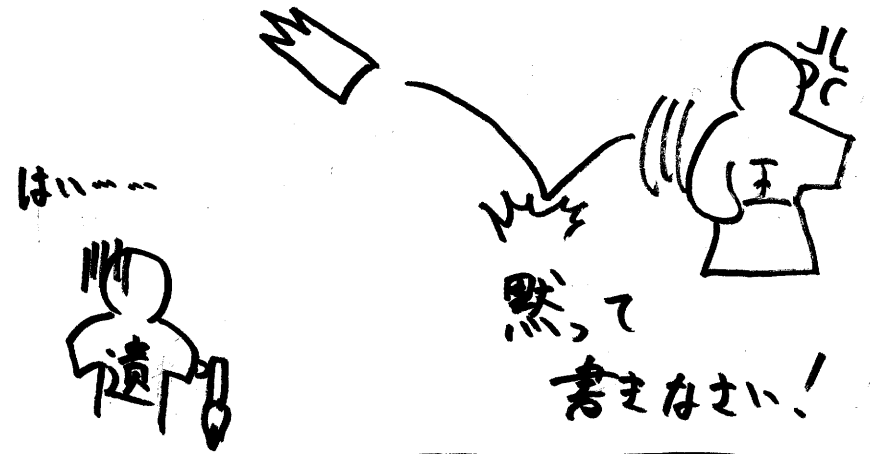
父の遺言なので
すみません



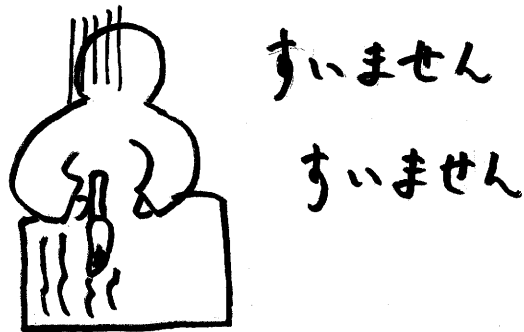
⑤ 息子が功徳を積まないのて、
烏龍は地獄でよゝ苦しみます。



⑥ そのころ、何度頼んでも断る
遺龍に、ついに国王は怒りました。



⑦ 遺龍は父に謝りながら、
法華経を書き写します。



⑧ すると、地獄にて……

⑨ 遺龍の書いた法華經の文字が
 佛様になって、地獄の人々を
 救い出しました。



⑩ では、写経よりもすごい
 修行をした、どうなるでしょう?

すごい



法華經の修行

じゅじ
 受持：信じつうけた

どく
 読：読む、書かれています
 体験する

じゅ
 誦：お唱えする

げせつ
 解説：人に教える

しよ
 書写：書き写す (写経)

↓
 小さい